



議会だより



治水感謝式 ～三重緑地公園内 故保原元二氏胸像前にて～

まち活性化特別委員会

南幌高校存続の取り組みを確認

第2回 定例会

6 月 15 日

財産の取得

(中型バス 南小教育コンピューター備品)を可決

6 月定例会は 6 月 15 日に開会し、5 名の議員が一般質問を行いました。

その後、平成30年度各会計補正予算、財産取得、条例制定など19議案を審議し、いずれも原案のとおり可決 採択し閉会しました。

専決処分

○平成29年度一般会計補正予算(第8号)

歳入では、地方消費税交付金及び特別交付税の最終確定に伴う精査。
歳出では、主に町道除排雪事業経費の減額によるものです。

○町税条例(改正)

○南幌町国民健康保険税条例(改正)
地方税法一部改正のため。

平成30年度補正予算

○一般会計補正予算(第1号)

歳入では、主に一般寄附金の追加。
歳出では、主にふるさと納税受付サイト手数料、下水道事業特別会計繰出金及び住宅リフォーム等助成金の追加によるものです。

○下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入では、一般会計繰入金の追加。
歳出では、修繕料の追加によるものです。

質疑

議員

修繕料521万5千円について、原因と今後の対策は。

都市整備課長 空気に触れることによる腐食が下水道管破損の原因です。腐食を防止するため、平成14年から3力年で管更生を行っています。市街地については、点検済みであり腐食はあまり進んでいない状況ですが、今後も定期的な点検を行っていきます。

契約関係

○財産の取得

取得物件
中型バス(1台)
取得方法
北海道市町村備荒資金組合車両譲渡事業に基づく譲渡
取得金額
1,841万510円
北海道市町村備荒資金組合の契約相手
北海道いすゞ自動車株式会社
恵庭支店

○財産の取得

取得財産
教育コンピュータ備品(一式)
取得方法
北海道市町村備荒資金組合防災資機材譲渡事業に基づく譲渡
取得金額
2,504万5,200円
北海道市町村備荒資金組合の契約相手
富士電機ITソリューション(株)北海道支店

○財産の取得

取得財産
食缶消毒保管庫(3台)
取得方法
北海道市町村備荒資金組合防災資機材譲渡事業に基づく譲渡
取得金額
1,641万6千円
北海道市町村備荒資金組合の契約相手
日本調理機(株)北海道支店

条例制定等

○町税条例(改正)

地方税法等一部改正のため。

○南幌町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例(改正)

国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準一部改正のため。

○南幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(改正)

国の放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準一部改正のため。

○南幌町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する条例(改正)

○南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例(改正)

介護保険法施行規則等一部改正のため。

人事案件

○固定資産評価員の選任

おおさき 大崎 貞二さん(北町)

その他

○放棄した非強制徴収公債権等の報告

○平成29年度南幌町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○北海道主要農産物種子条例の制定に関する意見書

提出者 石川 康弘議員

○旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

提出者 佐藤 妙子議員

意見書とは



地方公共団体の公益に関することに關して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。



全道議員研修報告

今年度の北海道町村議会議長会主催の研修会は、7月3日札幌コンベンションセンターに全道各地から約1,800名の町村議会議員が参加し盛会に開催されました。



加来 耕三氏

今回の研修は、歴史家・作家の加来耕三氏より「明治維新から百五十年、現在そして未来を考える」と題しての講演。

未来は過去と現在の線上にあり、学ぶべきは過去にあるとし、歴史学を使う問題は解決することや歴史の中に複数のケーススタディがあると話していただきました。

次に、政治家の政治資金、国会活動に詳しい政治学者で日本大学法学部教授岩井奉信氏による「現代日本政治と政局のゆくえ」と題して講演。

憲法改正より先にやるべきは、経済政策ではと独特の見解で熱く語ってくれました。

お二方のお話は内容も魅力的なものでしたが、巧みな話術で時間を感じさせない素晴らしい講演でした。



賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成29年第2回議会定例会

平成30年度一般会計補正予算、財産取得、条例制定など19議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

議会懇談会を ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくこと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。
- 懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。

一般質問

問 南幌高校の存続に向けた支援策は

答 要請活動を実施する

菅原 文子 議員



行ってきましたが、今までとは違った支援が必要であると考え南幌高校の存続に向けた支援策と、連携型中高一貫教育校を一つの例として、中学校卒業生からの進学率アップに特化した支援策を伺います。

菅原議員

北海道教育委員会は、公立高等学校配置計画案として「平成30年度は町内の高校進学者数58人のうち、南幌高校に進学したのは3人。進学できる高校が町外にもあるとして、33年度の募集を停止し、35年3月末には閉校」と公表しました。地元からの進学率に重きを置いた結果と考えられます。南幌高校の募集停止は喫緊の課題であり、町の将来に大きくかわる問題です。本町として手厚い支援を

町長

これまで、町として魅力ある高校づくりに向け、支援策を講じ、生徒の確保に努めてきました。公立高等学校配置計画は、9月に決定となりますが、地域の衰退、まちの魅力が失われてしまう恐れもあり、到底受け入れることはできません。

今後、高校存続に向けた要請活動を実施し、在校生や今後入学を予定している生徒に影響を与えないよう、これまでの支援を継続していきます。また、これまで道教委に

もお願いして今日までできましたが、一方で我が町の子供たちが目的を持って進学している高校がたくさんあります。連携校については、本町の子供たちだけの問題ではなくあります。子供たちは常に平等で、どこにでも行ける環境づくりが一番ではないかと思っています。今後も応援できるものについては、応援をしていきます。

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

終活とは残りの人生をどのようにに生きたいかという望みを形にし、人生の終わりに向けて、前向きに準備することで今をよりよく生きていくための活動です。

問 終活支援の取り組みは

答 先進地事例を参考に組み合わせ

核家族化が進み相続問題、墓じまい、葬式、残されたペットなど、本町でも不安を抱えている方がふえていると思われます。特に一人暮らしの高齢者にとって、終活は喫緊の課題と考え、3点伺います。

①本町の地域包括支援センターでは、今後増加が予想される終活問題の相談にどのように対応していくのか。
②もしもの時に備え、生前の意思がわかるエンディングノートを取り入れる考えは。
③終活のさまざまな制度や方法を町民に紹介するセミナー・講習会等を開催する考えは。

町長

①地域包括支援センターでは、総合相談窓口機能を有しており、生活支援、医療、介護や住まいなどの相談に対応し、一人暮らし等の高齢者には相談体制の充実に努めていきます。

その他の質問

児童生徒の読書に親しむ環境づくりは。

①ふるさと巡回文庫をスポーツセンターや改善センターに設置する考えは。
②夕張太ふれあい館で borrow 図書の貸し出しの考えは。
③新しい読書の楽しみ方としてフリオバトルの導入は。

教育長

①両施設については、考えていません。
②小学校での受け渡しを行っていることから、考えていません。
③現段階では考えていません。

問 町立病院存続と地域包括ケアシステム構築のため介護医療院の優先議論を

答 国や先進地の動向を注視しながら慎重に検討する

原田 弘克 議員



原田議員

また、国は将来的に介護保険料が9千円台になるとの予測を示し、本町も介護保険料の上昇は避けられない課題であり、低所得者の保険料負担を軽減するため基金を創設し、保険料基準額の平準化を図り、将来に備えるべきと考えますが、あわせて伺います。

町長

介護医療病床の削減は平成35年度末までの経過措置となりましたが、医療療養病床は国の方針が明確になつていない状況であり、町立病院の方向性の検討で介護医療院を優先的に議論する考えはありません。

また、介護医療院創設に伴う介護保険料への影響は、創設議論を行わない現段階では見通すことは困難であり、基金の創設は難しいと考えています。

本年3月、町長は「町立病院存続のための方向性を内部検討する。」と明言しました。国は25万床の療養病床を削減するため、新たに「介護医療院」を創設しました。介護医療院は超高齢化が進む本町の町民が安心して住み続けられ、医療の必要な要介護者のために、医療と介護の連携による地域包括ケアシステム構築には必要な手段であり、優遇措置や緩和措置があることから優先的に議論すべきと考えますが、町長の所信を伺います。

町立病院の方向性を含め、地域包括ケアシステムの推進については、国や先進地の動向を注視しながら慎重に検討します。

内田 恵子 議員



内田議員

近年地方分権が進む中、高度化・多様化する住民ニーズに即応し、ゆとりや豊かさを実感する地域社会をつくるために、地方自治体の果たす役割はますます重要になっていきます。

法律や通達の解釈能力と

問 職員研修の充実について

答 住民サービスの向上に資する研修となるよう内容の検討を行う

町長

いったものだけではなく、課題の発見や解決、政策提案能力が求められており、職員が本来持っている潜在的な能力を引き出せる環境を整え、生産性の高い仕事を確実にできる体制を構築することが大切だと考えます。

それには、町長のリーダーシップはもちろんです。必要不可欠だと思います。

本町では、各種職員研修を実施していますが、既成概念にとらわれない柔軟な発想と人間の経営感覚、スピード感を持つて対応する能力を育成するために2点伺います。

- ① 民間企業や地元農家などで研修させる考えは。
- ② みずから研修、視察を希望する職員はいるのか。

① 受け入れ先の問題や職員のスキルアップにつながる内容とすることができかなど、総合的に判断しなければならぬと考えます。現在の研修メニューを基本とし、社会情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応し、住民サービスの向上に資する職員を育成するための研修となるよう、内容の検討を行います。

② 希望のある職員もいるので、可能な限り機会があれば研修させます。



新しい人の流れをつくる道の駅建設は

答 地域活性化拠点施設の検討を進める

熊木 恵子 議員



熊木議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標では、観光を中心としたPR、知名度向上、交流人口の拡大と移住への流れづくりが掲げられています。

近年、みどり野きた住まいるヴィレッジ、遊水地事業、地域高規格道路、内定ではあります北広島市の日ハムボールパーク構想と本町を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。

道内の道の駅は、現在登録数114カ所であり規模も特色もさまざまです。中央公園を拠点として新たな人の流れをつくる魅力のある町、立ち寄ってみたくな

る町、住んでみたくなる町へと発展させていく施策とし、道の駅建設に着手する時ではないかと思いますが、町長の考えを伺います。

町長

みどり野きた住まいるヴィレッジのオープンをはじめ、遊水地事業、道央圏連絡道路などの事業が順調に進捗しています。特に日ハム新球場建設地として北広島市が内定を受けたことにより、本町を往来する人の流れが大幅に変わることが予想されます。

この機会を本町への誘客につなげる契機と捉え、観光や地域の振興、移住定住の促進、知名度向上など、道の駅を含めた地域活性化拠点施設設置の可能性を検討するため、職員レベルによる、ボールパーク構想に伴う誘客政策検討会を5月末に立ち上げたところであります。今後は、この検討会の結果や財政負担を考慮しつつ判断していきます。

その他の質問

治水感謝のあり方について
7月1日の治水感謝の日を多くの町民が参加できるようにするため、遊友館を保原元二技師の所有品展示、映像上映などを行う常設展示ギャラリーとして活用してはどうか。

町長

毎年7月1日の治水感謝の日に、関係者の方々の出席のもと行事を執行しており、今後も現行の中で継続していきます。

現在、遊友館1階に「水害とのたたかい」のコーナー展示等を行っています。

3階の展望室の活用については、管理人が1階に常駐のため、施設管理上難しいと考えますが、生涯学習センター郷土資料室で展示や資料の充実を図っていきます。

平成29年度分 町議会議員の税等納付状況

南幌町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

平成30年6月1日現在

職 名	氏 名	町道民税	固定資産税	国民健康保険税	軽自動車税	下水道料 使用料	農業集落排水 施設使用料	介護保険料	後期高齢者 医療保険料
議 長	側瀬 敏彦	○	○	—	—	—	—	○	—
副議長	本間 秀正	○	○	○	○	—	—	—	—
議 員 (議席番号順)	川幡 宗宏	○	○	○	○	—	—	○	—
	原田 弘克	○	○	○	—	○	—	—	—
	志賀浦 学	○	○	—	○	○	—	○	—
	内田 恵子	○	—	—	—	—	—	—	—
	西股 裕司	○	—	—	—	—	—	○	—
	佐藤 妙子	○	—	○	—	—	—	—	—
	菅原 文子	○	—	○	—	○	—	—	—
	石川 康弘	○	○	○	○	—	—	—	—
	熊木 恵子	○	—	—	—	—	—	○	—

【表示例】「○」・・・当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合
「×」・・・当該年度に納付すべき額に未納がある場合
「—」・・・本人に納付義務等がない場合

一部事務組合の紹介

南空知消防組合

南空知消防組合（管理者：佐々木学 栗山町長）は、栗山、長沼、由仁、南幌の4町が共同で消防事務を行うために設置する一部事務組合です。

町が共同で事業化することで有事の際に各支署で協力して対処することができ、消防車両や機材などを融通することができます。財政面も含めて効率的であることから、広域で事務組合を設立しています。栗山町に本部を設置し、各町から3名の議員を選出（南幌町議会選出議員：内田恵子・佐藤妙子・石川康弘）12名で構成されています。

事業内容としては、定例議会を行い消防事務事業について予算、決算の審議をし、特別な案件が提出された時には臨時議会を開催し審議します。そのほかに消防職員と消防団による演習、消防出初式、防災フェスタへの参加や研修視察なども行っています。

また、近年各町では女性消防団を配備し、防火意識・救護の普及にも力を入れています。

全員協議会

5月24日

3点の説明・報告がありました。

①北海道教育委員会から示された「これからの高校づくりに関する指針」に基づき、6月に南幌高校を含む「公立高等学校配置計画案」が公表される予定です。
（生涯学習課）

②千歳市外本町を含む二市四町で構成する道央廃棄物処理組合から示された「焼却施設基本設計（概要）」に基づき、平成36年4月稼働に向けて取り進めます。
（住民課）

③札幌市を中心とした連携中枢都市圏に本町も参加し、策定される「連携中枢都市圏ビジョン」に向けて連携事業の検討を進めます。
（まちづくり課）

委員会活動

まち活性化特別委員会

7月5日

北海道教育委員会は6月5日、南幌高校の平成33年度募集停止を含む公立高等学校配置計画案を示し、同日開催の第2回議会定例会の冒頭、町長の「存続に向けて取り組む」との表明を受けて議会としての対応を協議、「町とともに存続に向けて取り組む」ことを全委員で確認しました。



総務常任委員会

6月27日

○多良木町行政視察について

産業経済常任委員会

4月13日

○平成30年度調査項目について

6月19日

○デマンド交通・巡回バスについて

○免許返納者等への助成券の利用状況について

○下水道管更生工事の状況について

○新規就農受け入れ態勢の状況について

○農地管理（外国資本介入防止体制）について

議会運営委員会

6月8日

○第2回定例会の運営について



私のまちひとしごと

議会だより表紙の方を紹介します。

夕張川新水路事業を指揮し水害の歴史を変えた南幌町の恩人
故保原元二氏の長女 佐々木光枝さん

(札幌市のご自宅でお話をお聞きしました。)

○お父様の記憶で一番の思い出は。

佐々木 小学生の頃、寝る時に作り話を聞かせてくれました。ただそのお話が毎回同じなんです。父も少し変わった人で、一つひとつ表現の仕方が面白くて演劇みたいで変な話をする父だなと思った記憶が残っています。

○夕張川新水路事業で南幌町を水害の歴史から救ったお父様をどう思いますか。

佐々木 父からは一度も経緯を聞いたことはなかったのですが、以前父と一緒に伺った時、当時の本間町長さんと父との会話の中で、「作業機械もなく手掘りでの難工事だった」と聞いて、父も含めて人の力だけで大変なことを成し遂げたんだなと感じました。

○毎年7月1日の治水感謝式にお父様とお母様（故保原スエ様）の遺志を継いで出席いただいています。その思いをお聞かせください。

佐々木 若いころは何もわからず、父や母に連れられ

て出席するだけで、母が亡くなった時に中断してから7月1日は自宅でお祈りをしていました。

一昨年の札幌でのシンポジウムに出席して、私自身考えさせられる機会となり、三好町長さんのお誘いもあって、今はできるだけ出席して、町の人たちと一緒に亡くなった方たちのお祈りをしていきたいと思っています。



保原 元二氏

○近年の異常気象による集中豪雨など水害や災害について御意見を聞かせください。

佐々木 今の日本は、地震や異常気象による豪雨など災害の危険が増していると

夕張川も完成してから80年以上が経ちますが、水の力と怖さは大変なものだと思っています。

国や町も油断せずお金もかかると思いますが、少しずつ備えていってほしいです。

○最後に、現在の南幌町について御意見・御感想、メッセージをお願いします。

佐々木 南幌は、農業を中心とした町で、お米、キャベツやとうもろこしなどの野菜、今は特産品づくりに力を入れていると聞いています。食は、人々が生活する上で大切なものです。安全でおいしいものづくりを頑張りたいと思います。南幌は札幌に近く、地理的条件がいいわけですから、もっとPRしたり、アクセスが良ければもっと交流も広がると思います。

来年の7月1日もお待ちしております。ありがとうございます。

広報委員 原田弘克

編集後記

今年の春は暖かく、桜をはじめ花々が例年よりも早く咲きはじまりました。田植えが終わる頃より半端ない寒さに見舞われました。なんと50年ぶりの寒さとか。またその後は、えぞ梅雨とも思われる日照不足が続いてお

ります。町議会広報は、13年ぶりの単独発行となりました。お気付きの点がございましたら議会事務局までご一報いただければ幸いです。

議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、夏真っ盛りの半端ない暑さになっていることを祈るばかりです。

U
K

なんぼろ議会だより

平成30年8月1日 第143号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL011-378-2121

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

印刷／山東印刷（株）